

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【公開番号】特開2001-42186(P2001-42186A)

【公開日】平成13年2月16日(2001.2.16)

【出願番号】特願平11-218271

【国際特許分類】

**G 02 B 7/00 (2006.01)**

【F I】

G 02 B 7/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月2日(2006.8.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

温度変化Tが生じると、各部材は温度変化にともない寸法変化を生じる。寸法変化後の部材3の長さをa'、部材4の長さをb'、部材5の長さをc'、部材6の長さをd'とすると

$$a' = a (1 + a T) \quad (15)$$

$$b' = b (1 + b T) \quad (16)$$

$$c' = c (1 + c T) \quad (17)$$

$$d' = \underline{d} (1 + d T) \quad (18)$$

となる。温度変化Tによる寸法変化後のhをh' とすると、h'は

$$h' = 2 (s' (s' - a') (s' - b') (s' - c'))^{1/2} / a' \quad (19)$$

ここでs'は

$$s' = (a' + b' + c') / 2 \quad (20)$$

である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

温度変化Tが生じると、各部材は温度変化にともない寸法変化を生じる。寸法変化後の部材3の長さをa'、部材4の長さをb'、部材5の長さをc'、部材6の長さをd'とすると

$$a' = a (1 + a T) \quad (27)$$

$$b' = b (1 + b T) \quad (28)$$

$$c' = c (1 + c T) \quad (29)$$

$$d' = \underline{d} (1 + d T) \quad (30)$$

となる。温度変化Tによる寸法変化後のhをh' とすると、h'は次のようになる。